allcinema

轢き逃げ　最高の最悪な日（2019）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ドラマ　ミステリー
製作国　日本
色彩　Color
時間　127分
初公開日 2019/05/10
公開情報 東映
映倫　G

【キャッチコピー】
なぜ、AIする娘は
死んだのですか？

【解説】
「TAP　THE LAST SHOW」で監督デビューを飾った水谷豊が、今度は脚本も自ら手がけて撮り上げた長編第２作。一つの轢き逃げ事件を巡り、現場から逃走してしまった加害者の葛藤と恐怖、突然最愛の娘を奪われた被害者家族の悲しみと怒りを、二転三転する真相の行方とともに描き出す。主演は「アノソラノアオ」の中山麻聖、共演に石田法嗣、小林涼子、檀ふみ、岸部一徳。また水谷豊自身も被害者の父親役で出演。
大手ゼネコンに勤める若きエリート・宗方秀一は、白河早苗との結婚式を３日後に控え、その打ち合わせへと車で向かっていた。式の司会を務める親友で同僚の森田輝が助手席に座る中、急ぐあまり不慣れな抜け道で若い女性をはねてしまう。しかし周囲に誰もいなかったことから、秀一と輝はその場を立ち去り、そのまま打ち合わせへと向かってしまう。警察の捜査に怯えながらも、結婚式の準備を進めていく秀一だったが…。一方、突然の轢き逃げ事件で一人娘を失い、悲しみに暮れる時山光央と妻の千鶴子。ある日、遺品の返却に訪れた２人組の刑事、柳公三郎と前田俊から“娘さんの携帯電話が見あたらない”との報告を受けるのだったが…。

【クレジット】

監督	水谷豊
チーフプロデューサー	島川博篤
製作	亀山慶二
	水谷晴夫
	村松秀信
	木下直哉
	間宮登良松
	山田裕之
製作総指揮	早河洋
エグゼクティブプロデューサー	西新
	長井富夫
	須藤泰司
Ｃｏ．エグゼクティブプロデューサー	佐々木基
プロデューサー	遠藤英明
	菊池淳夫
	西平敦郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ラインプロデューサー	今村勝範	
アソシエイトプロデューサー	青柳貴之	
脚本	水谷豊	
撮影監督	会田正裕	
美術	近藤成之	
編集	只野信也	
音響効果	西村洋一	
音楽	佐藤準	
録音	舛森強	
照明	松村泰裕	
装飾	前田亮	
制作担当	榊田茂樹	
	鳥越道昭	
スタイリスト	高橋正史	
テーマソング	手嶌葵	『こころをこめて』
助監督	井川浩哉	
ＤＩカラリスト	佐竹宗一	
出演	中山麻聖	宗方秀一
	石田法嗣	森田輝
	小林涼子	白河早苗
	毎熊克哉	前田俊
	水谷豊	時山光央
	檀ふみ	時山千鶴子
	岸部一徳	柳公三郎
	黄川田将也	
	堀田眞三	
	原康義	
	西沢仁太	
	山中崇史	
	HIDEBOH	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.